

早起きして“蓮”を楽しむ。

今年も“見て、触れて楽しめる蓮のイベント”をコンセプトに三溪園早朝観蓮会を開催します。三溪園のシンボルで京都から移築された三重塔と蓮の織りなす景色は、横浜とは思えない古都の風情を感じさせてくれます。蓮池の傍には蓮の体験コーナーが設置され、蓮の葉のシャワーや葉っぱのお面作り、茎の糸取り体験など不思議で楽しい遊びが体験できます。

さらに園内の茶店3軒では早朝限定メニューが用意され、早起きの朝に素敵な朝食を味わうことができます。



《イベント名》	第 43 回三溪園早朝観蓮会
《期 間》	2017 年 7 月 15 日（土）～8 月 6 日（日）の土日曜日・祝日…9 日間
《時 間》	朝 6:00～8:30 ※日程は下記
《会 場》	三溪園 外苑 蓮池周辺（裏面参照）
《料 金》	入園料のみで観賞できます（大人(高校生以上)700 円）

〔所在地〕 横浜市中区本牧三之谷 58-1
〔お問合せ〕 三溪園（公益財団法人 三溪園保勝会）
事業課 羽田、吉川
TEL：045-621-0634・0635
FAX：045-621-6343

体験コーナー（6:00~8:30）

《蓮の葉シャワー》

蓮の葉っぱから放射状に水が噴き出る不思議なシャワー。三溪園だけの特別な演出で小さな子どもから大人まで大人気。

《蓮の糸をとってみよう》

蓮根や蓮の茎を折ると、その切り口からたくさんの糸が取り出せる。約1200年前、奈良時代の大和、当麻寺(たいまでら)の中将姫はこの蓮の糸で曼荼羅を織ったという伝説がある。

《葉っぱのお面作り》

クッキーの型抜きなどを使って、蓮の葉に目や口の穴をあける。親子で協力してオリジナルのお面が作れる。

《蓮茎ストローのシャボン玉》

茎をストローにして、楽しむシャボン玉遊び。

《切花の展示》

開花1~2日目の蓮は蜜蜂を引き寄せるため芳醇な香りを放つ。意外と知られていない蓮の甘い香りが楽しめる。

《パネル展示》

そのほか蓮に関するQ&Aについて解説パネルを設置。



三溪園早朝観蓮会 位置図



特別開放

三溪園のシンボル三重塔と蓮と一緒に楽しめるスポットを特別開放します。



体験コーナー

1700㎡の池一面に蓮花が咲きます

蓮池

蓮の種類

現在、三溪園に生育している蓮は主に原始蓮です。これまで、様々な品種が植えられてきましたが、背丈が高く繁殖力の強いこの品種が残りました。原始蓮は一重咲きの大きな花で、開花1～2日目は比較的濃い赤色ですが、3～4日目には桃色に変化し、基部近くが白くなるのが特徴です。蓮研究で有名な大賀一郎博士が原始的な蓮として命名しました。古くから大阪府に自生していた品種で大阪府の天然記念物に指定されています。三溪園には昭和51年に舞妃蓮、太白蓮などととも植えられました。

蓮の咲き方

蓮の花は、明け方から咲きはじめ7～9時に見頃を迎えます。その後次第につぼみ始めてお昼ごろには閉じるか、散ってしまいます。昼間でも咲いているように見える花は3日目の花で、9時頃から閉じ始めた花が半開きの状態で留まっています。花は2日目の花がもっとも美しく、3日目の花は花托の雌蕊が受粉して柱頭が黒くなります。開花が2日目か3日目の花かを見分けるには、柱頭を見れば分かります。花は昼頃から閉じはじめますが、半開のまま4日目を迎えます。3日目になると、紅蓮系統の品種はかなり退色します。

【開花1日目】

午前5時頃、外側の花びらがゆるみ出し、1分間に約2mmの速さでゆっくり口を開け、1～3cmの「とっくり型」になる。色も濃くなり、午前8時頃から閉じ始める。

【開花2日目】

夜中の午前1時頃から開き始める。午前7時から9時頃までに「おわん型」になり、色鮮やかになる。この頃から閉じ始め、昼頃には完全に閉じる。

【開花3日目】

夜中の午前1時頃から開き始める。午前6時頃には「おわん型」、9時頃には「さら型」になる。花は最大に開くが、色はあせ、花びらも一ひら、二ひら散り始める。午後までに少し閉じるが、半開きの状態で終わる。

【開花4日目】

夜中の午前1時頃から開き始める。午前6時には完全に開き、花びらが散り始める。午後には一ひらもなくなり、花托だけが残る。

1日目



2日目



3日目



4日目



4日目の昼頃



早朝観蓮会限定メニュー (6:00~9:00 または 6:00~9:30)

●雁ヶ音茶屋 (かりがねちゃや)

中華風がゆ ¥800 朝 6:00~9:00

(ホタテ貝柱・シイタケ・鶏肉入りのおかゆ・葛きりのデザート付)

●三溪園茶寮 (さんけいえんさりょう)

朝がゆ ¥1,100 朝 6:00~9:00

(おかゆ・温泉卵・紀州梅干・赤出汁・水ようかんなど)

●待春軒 (たいしゅんけん)

麦とろ御飯 ¥1,000 朝 6:00~9:30 ※100食限定

(大和芋とろろ・ハスキんぴら・味噌汁・黒蜜寒天など)



三溪園の位置・アクセス



《所在地》

三溪園 横浜市中区本牧三之谷 58-1

《お問合せ》

三溪園 (公益財団法人 三溪園保勝会)
事業課 羽田、吉川

TEL : 045-621-0634・0635

FAX : 045-621-6343